

2003年度

NGO-JICA相互研修

プロジェクトに終わりはあるのか？

～自立発展性を考える～

報告書

主催

独立行政法人
国際協力機構



特定非営利活動法人
国際協力NGOセンター



総 研
J R
03-75

報告書の発刊にあたって

2003 年度は NGO-JICA 相互研修も、また JICA も大きく様変わりした年となりました。

まず今年度で 6 回目の開催となる NGO-JICA 相互研修は、従来の国内研修に加えて海外研修を行いました。今回は、NGO と JICA のプロジェクトの相違点のひとつである「プロジェクトの終わらせ方」に焦点を当て、「プロジェクトに終わりはあるのか？～自立発展性を考える～」を研修テーマとして取り上げました。

国内研修では、NGO と JICA 双方の典型的と思われるプロジェクトを事例として、それがどのような状態で終了したのか、あるいはそもそもプロジェクトは終わるべきものなのか、プロジェクトの捉え方は NGO と JICA で違うのか、といったことについて白熱した議論を行いました。参加者それぞれが所属団体を超えて、国際協力に携わる者同士として熱く語り合うにふさわしいテーマであったように思います。

そして海外研修では、国内研修で得られた成果である「自立発展性を確保してプロジェクトを終了するのに必要な要素」が実際のプロジェクトに盛り込まれているのか、また国内研修では見出せなかった重要な要素がなかったのかを確認するために、フィリピンで実施された NGO、JICA それぞれのプロジェクトを視察しました。

海外研修の参加者からは、「国内研修の成果を更に深めることができた」、「NGO と JICA の目指すものの共通点と違う点、そしてお互いに学ぶべき点が現場を見ることで更によく分かった」といった意見が寄せられ、本研修が目指している NGO と JICA の相互理解の促進を一層深めることができたことを大変嬉しく思います。

この海外研修の成功は、今年度独立行政法人として新たなスタートを切り、現場重視、成果重視に一層取り組んでいる JICA にとっても大きな励みとなります。海外活動現場を実際に訪問する研修であったこと、また自立発展性というテーマを NGO の皆様と共に掘り下げて学べたことは、より有効な国際協力活動を目指していくことに大いに役立つものと思っております。

最後になりましたが、研修の開催にあたってご協力いただいた（特活）日本国際協力 NGO センター（JANIC）、1 年間ご尽力いただいたコースリーダーの女子栄養大学磯田厚子助教授及び検討委員の方々、海外で現場訪問にご協力いただきました（社福）基督教児童福祉会（CCWA）、また研修当日の事例報告にご講義いただきました方々に深く感謝申し上げます。

独立行政法人国際協力機構
国際協力総合研修所
所長 金丸 守正

ごあいさつ

生い立ちや形態が違う二つの組織が一緒に仕事をするということは、決してやさしいことではありません。しかし私自身、これまでの経験から、うまくやれる方法があることを知っています。それは二つの組織の両方を理解している者が最初は間に入り、時に接着剤、時にスポンジ役を務めることです。これにより両者がうまく協働できる機会が生まれます。そしてこれを続けることにより、知らず知らずにそれぞれの組織が自然体で協働できるようになります。このように考えるとこの研修は NGO-JICA 相互理解研修と言えます。

さて第 6 回目を迎えた今回の研修は「プロジェクトに終わりはあるのか？～自立発展性を考える～」のテーマで開催され、NGO から 15 名、JICA からオブザーバー 2 名を含む 13 名が参加しました。また、国内研修修了者を対象に今年度から始まった海外研修には、NGO から 7 名、JICA 5 名が参加しました。

まず国内研修では NGO と JICA 双方の案件事例をもとに、それぞれの組織の強みや抱える課題を共有するとともにプロジェクトのあり方について議論しました。事前に期間を定め PCM 手法をベースに計画的に枠組み作りからシステムティックに進められる JICA のプロジェクトに対し、NGO のプロジェクトは比較的柔軟な対応を軸に、状況に合わせた緩やかな枠組みの中で「今」を重視して進められます。しかしながら両者とも目指すものはプロジェクトの自立発展性です。今回の研修ではアプローチの違いが、どのような結果の違いに結びつくの、また相手と比べ自分たちにかけている部分は何かという大きな気づきを双方の参加者に与えてくれました。参加者が夜遅くまで熱心に議論した内容は、ぜひ本文を参照していただければと思います。ただ議論のプロセスで私が気になりましたのが JICA からの参加者が用いる言語の一部に NGO のなじみが薄いものがあったことです。これは PCM 手法からのプロジェクトを解説する際に現れたもので、このギャップが時々、議論を中断してしまいました。そのため本研修後、すぐに NGO スタッフ向けの PCM 手法に関する研修をやはり JANIC・JICA 共催で行ない、NGO スタッフが PCM 手法の大枠について学べる機会を設けました。

海外研修では、フィリピンで NGO・JICA 双方の案件を視察し、プロジェクトが終了したのち、どのように効果が持続し、活動が住民に引き継がれているかを調査、考察しました。今回初めての試みで行なった海外研修ですが、やはり実際に現場に赴き、そこでプロジェクトに関わるボランティアや地域の人々とのさまざまな触れ合いを通して NGO と JICA の双方の参加者が共に学びあう良い機会を提供できたものと思っています。

最後になりましたが、今回の研修を開催するにあたり、半年間にわたる研修内容の議論から当日のファシリテートまでを務めて下さった検討委員の方々、また当日の事例報告やまとめを担当して下さった方々に感謝申し上げます。最初に行なった参加者の自己紹介では「NGO はあまり好きじゃない」というコメントも飛び出した今回の NGO-JICA 相互研修ですが、「この研修で NGO への認識が多少変わった」と再コメントがあったこと、また多くの JICA 参加者が NGO 参加者へエールを贈って下さったこと、そして NGO の参加者からは JICA がとても身近な存在に感じられるようになったという感想があったことをお伝えして、お礼に代えさせていただきます。

(特活)国際協力 NGO センター
常務理事・事務局長 山崎唯司

コースリーダー・検討委員・講師・事例報告者・事務局

コースリーダー

磯田 厚子 女子栄養大学助教授／特定非営利活動法人
日本国際ボランティアセンター 助教授／副代表

検討委員

青木 美由紀 特定非営利活動法人 シェア＝国際保健協力
市民の会 東ティモール事業担当

田中 博 特定非営利活動法人ヒマラヤ保全協会 事務局長

小林 毅 社会福祉法人基督教児童福祉会
国際精神里親運動部 部長

鶴田 厚子 社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン スペシャルアドバイザー

竹内 智子 JICA国内事業部 国内連携促進課課長代理

上島 篤志 JICA中南米部 計画課課長代理

睦好 絵美子 JICA森林・自然環境協力部 森林環境協力課課長代理

菊地 和彦 JICAアジア第一部 インドシナ課課長代理

講師

勝又 晋 JICAアジア第一部 東南アジア課課長代理

横関 祐見子 JICA国際協力専門員

中田 豊一 参加型開発研究所 代表

事例報告者

小林 和夫 日本ネグロス・キャンペーン委員会 事務局長

大島 歩 JICA企画・評価部 評価監理室

事務局 (NGO)

山崎 唯司 特定非営利活動法人
国際協力NGOセンター(JANIC) 常務理事・事務局長

藤岡 恵美子 ”

事務局 (JICA)

山内 邦裕 JICA国際協力総合研修所 人材養成課課長

曳地 和博 ” 人材養成課課長代理

大野 ゆかり ” ”

松久 逸平 ” 人材養成課

事務局 (IHCSA)

磯 智明 社団法人国際交流サービス協会 人材事業部研修グループ長

川口 順太郎 ” 人材事業部研修グループ

上田 亜未 ” ”

NGO-JICA 相互研修 実施準備スケジュール

2003年

5月22日 第1回検討委員会（運営体制、テーマ）

6月18日 第2回検討委員会（研修日程、募集・選考）

6月25日 参加者募集開始（募集要項配布、ホームページ掲載等）

7月17日 第3回検討委員会（国内・海外研修の研修事例）

7月31日 募集締切

8月 8日 第4回検討委員会（参加者選考、パネル討議内容）

9月10日 第5回検討委員会（参加者グループ分け、進行方法、事前配布資料、その他最終確認）

9月25日～27日 国内研修実施

10月7日 第6回検討委員会（国内研修の反省、海外研修日程確認）

11月6日～14日 海外研修実施（事前研修・帰国報告会含む）

12月2日 第7回検討委員会（海外研修報告および反省、報告書、次年度の改善点）

2004年

2月24日 第8回検討委員会（報告書編集、総括）

目 次

I 研修総括

研修の成果と総括	1
----------	---

II 国内研修

1. 研修概要	9
2. 事務所相互訪問	13
3. パネル討議	18
4. 分科会及び全体会Ⅰ発表	24
5. 全体会Ⅱ	38
6. 国内研修アンケート集計結果	41

III 海外研修

1. 海外研修の成果と総括	57
2. 研修概要	60
3. 訪問プロジェクトの概要	65
4. 海外研修の成果	68
5. 海外研修報告会発表	71
6. 海外研修を終えて（参加者の感想）	84
7. 海外研修アンケート集計結果	87

IV 英文調査報告概要	93
-------------	----

付録 募集要項